

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場会社名 株式会社イナリサーチ

コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中川博司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 米田公生

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

TEL 0265-73-6647

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	2,361	△2.3	19	△90.4	△7	—	△31	—
21年3月期第3四半期	2,416	—	205	—	134	—	34	—
1株当たり四半期純利益			潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
22年3月期第3四半期	円 銭 △1,045.59		円 銭 —					
21年3月期第3四半期	円 銭 1,242.33		円 銭 1,232.81					

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	5,309	1,771	31.9	56,524.11
21年3月期	5,294	1,854	33.6	59,332.09

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,694百万円 21年3月期 1,776百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
21年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 1,600.00	円 銭 1,600.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,865	8.4	84	△76.6	38	△87.0	3	△96.9	126.23

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名)) 除外 一社 (社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期 29,982株	21年3月期 29,950株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期 一株	21年3月期 一株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期 29,967株	21年3月期第3四半期 27,180株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に回復は見られるものの依然として不透明な状態が続いております。

当社グループの主力事業が大きく関わる医薬品業界では、製薬企業の主力薬が相次いで特許切れを迎える「2010年問題」の顕在化、医療費抑制政策による薬剤費の伸び悩み、円高による為替の影響、更には国際競争の激化等、事業環境の厳しさが懸念されております。このため大手製薬企業を中心に、豊富な研究開発費を開発後期段階にある新薬候補物資に集中し、新薬をいち早く市場に出すことで新たな収益源の確保を目指す動きが顕著となりました。この結果、開発の初期段階に実施される試験への投資は抑制傾向にあると予想されます。

しかし一方では、医薬品の安全性を確保するための公正で科学的な試験データの取得、医薬品開発に関わる人材確保や設備固定費の削減、開発スピードの向上とコストダウンが従来以上に強く求められることから、製薬企業にとって、信頼できる受託試験研究機関：Contract Research Organization（以下「CRO」と言います。）へのアウトソーシングの重要性は広く認識されております。

当社はこの様な製薬企業のニーズに応えるべく、社員教育を継続し人材の育成に取り組み、長年培った経験を活かした高品質の試験データを提供すべく努めるとともに、コストの見直しを行ってまいりました。また、試験管理コンピュータシステムを刷新し、IT化の推進を図っております。さらに主力のサル試験を委託者へタイムリーに提供することを目的とした第8棟（サル検疫室・ストック室）が平成22年1月に竣工し、サル収容頭数が約50%増加いたしました。受注に対する取り組みでは、これまでに受注実績がある韓国、アメリカ以外からも受注増加を目指して欧州拠点の設置に向けて準備を進めており、今後は欧州製薬企業に対しサル試験を中心に広く営業活動を展開いたします。欧州ではサル試験を行うCROが減少しており、これを得意とする当社が担う分野は十分にあるものと見込んでおります。

また、臨床試験事業では、かねてよりThorough QT（サロ・キュー・ティー）試験の事業化に向け取り組んでおり、事業拠点となるフィリピンの臨床試験施設移転拡張工事が平成22年1月に完了したことから、今後は事業展開のスピードをさらに加速させてまいります。

こうして取り組んでまいりましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高及び利益は、前年実績を下回る結果となりました。これは前述した大手製薬企業の動きや景気低迷の影響による新薬開発ベンチャー企業からの試験減少などから稼働率が低下した一方で、設備投資によって減価償却費等の固定費は増加したため、個々の試験の費用負担が増したものであります。しかし、かねてより取り組んでいた社内体制整備と営業活動の強化の効果が表れ、当第3四半期連結会計期間の非臨床試験の受注は、前年実績を上回ることが出来ました。今後も豊富な経験を活かして試験報告の更なるスピード向上とコストダウンに向け経営資源を集中し、今まで以上に製薬企業から信頼されるCROを目指して引き続き取り組んでまいります。

この様な状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,361,473千円（前年同四半期比2.3%減）、営業利益は19,732千円（同90.4%減）、経常損失は7,180千円（前年同四半期は経常利益134,781千円）、四半期純損失は31,333千円（前年同四半期は四半期純利益34,915千円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 医薬品非臨床試験事業

当第3四半期連結累計期間における当事業部門の売上高は2,263,251千円（同4.0%増）、営業利益は144,697千円（同50.9%減）となりました。受注はこれまで低迷が続いておりましたが、かねてより取り組んでいた国内新規顧客への踏み込みの強化と海外製薬企業の開拓により、当第3四半期連結会計期間では前年実績を上回ることが出来ました。今後海外市場を含めた新規顧客の開拓に注力するとともに、主力のサル試験を中心とした営業展開を進め、受注の挽回に取り組んでまいります。なお受注残高については2,331,794千円（同2.0%減）となりました。

② 臨床試験事業

当事業部門においては、Thorough QT/QTc試験についてガイドライン「非抗不整脈薬におけるQT/QTc間隔の延長と催不整脈作用の潜在的 possibility に関する臨床的評価」（厚生労働省医薬食品局審査管理課 平成21年10月23日）が発出されたことと、フィリピンの臨床施設移転拡張工事が平成22年1月に完了したことから、有力顧客との具体的な交渉にむけた営業活動を展開してまいります。現在のところ設備投資が先行するため、営業損失45,483千円（前年同四半期は営業損失66,206千円）となりました。

③ その他事業

当事業部門においては、環境関係では大型工事案件ではなく保守業務と消耗品の販売が中心で、食品関連試験では小規模の試験が多く、売上高は98,221千円（同59.0%減）、営業損失79,480千円（前年同四半期は営業損失22,765千円）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

主力の医薬品非臨床試験事業では、稼働率の低下により各試験の費用負担が増加した結果、収益は厳しいものとなっております。売上高は2,361,453千円（同2.3%減）、営業利益は40,802千円（同83.2%減）となりました。

② フィリピン

実験用カニクイザルの日本への輸出を2回実施したほか食品ヒト試験が実施され、売上高は93,463千円（同9.7%増）、営業利益は97千円（前年同四半期は営業損失38,356千円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 当四半期末の資産、負債及び純資産の状況

資産の部の残高は5,309,383千円となり、前連結会計年度末と比較して15,201千円増加しました。本増加は主に、有形固定資産の取得によるものであります。

負債の部の残高は3,537,811千円となり、前連結会計年度末と比較して97,633千円増加しました。本増加は主に、長期借入金の増加によるものであります。

純資産の部の残高は1,771,572千円となり、前連結会計年度末と比較して82,432千円減少しました。本減少は主に、剰余金の処分による利益剰余金の減少によるものであります。

(2) 当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計期間末と比較して170,892千円減少し、135,293千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は65,108千円（前年同四半期は228,913千円の獲得）となりました。主な内訳は税金等調整前四半期純利益663千円、減価償却費212,656千円、たな卸資産の増加額101,398千円、前受金の減少額269,739千円、売上債権の減少額167,584千円、法人税等の支払額54,619千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は486,835千円（前年同四半期は761,422千円）となりました。主な内訳は土地を含む有形固定資産の取得による支出471,773千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は381,399千円（前年同四半期は681,258千円）となりました。主な内訳は短期借入金の純増加額40,000千円、長期借入れによる収入600,000千円、長期借入金の返済による支出187,200千円、配当金の支払額47,649千円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月4日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	187,434	349,264
受取手形及び売掛金	228,274	396,895
商品及び製品	4,357	8,347
仕掛品	1,206,459	1,159,664
原材料及び貯蔵品	345,529	289,682
その他	218,967	268,323
貸倒引当金	△13,964	△18,631
流动資産合計	2,177,058	2,453,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,283,318	3,265,558
減価償却累計額	△1,531,495	△1,406,741
建物及び構築物（純額）	1,751,823	1,858,817
土地	822,020	627,778
その他	1,096,511	895,667
減価償却累計額	△638,489	△584,951
その他（純額）	458,021	310,716
有形固定資産合計	3,031,865	2,797,312
無形固定資産	57,528	9,582
投資その他の資産		
その他	43,830	34,639
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	42,930	33,739
固定資産合計	3,132,324	2,840,634
資産合計	5,309,383	5,294,182
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	360,637	361,437
短期借入金	580,000	540,000
1年内返済予定の長期借入金	344,200	222,100
未払法人税等	20,821	59,326
前受金	889,211	1,160,246
賞与引当金	40,860	135,269
その他	381,995	362,200
流动負債合計	2,617,724	2,840,580
固定負債		
長期借入金	719,900	429,200
退職給付引当金	4,391	4,470
役員退職慰労引当金	48,800	46,125
その他	146,995	119,802
固定負債合計	920,086	599,597
負債合計	3,537,811	3,440,177

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,790	683,990
資本剰余金	600,790	599,990
利益剰余金	471,682	550,936
株主資本合計	1,757,262	1,834,916
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△62,556	△57,919
評価・換算差額等合計	△62,556	△57,919
少数株主持分	76,866	77,008
純資産合計	1,771,572	1,854,004
負債純資産合計	5,309,383	5,294,182

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	2,416,417	2,361,473
売上原価	1,531,307	1,696,506
売上総利益	885,110	664,966
販売費及び一般管理費	679,301	645,233
営業利益	205,809	19,732
営業外収益		
受取利息	824	187
受取賃貸料	6,805	9,945
その他	4,013	3,731
営業外収益合計	11,643	13,864
営業外費用		
支払利息	29,473	28,174
株式交付費	4,521	—
株式公開費用	25,426	—
為替差損	20,940	7,235
その他	2,308	5,368
営業外費用合計	82,671	40,778
経常利益又は経常損失(△)	134,781	△7,180
特別利益		
前期損益修正益	—	6,539
固定資産売却益	—	170
貸倒引当金戻入額	—	3,116
特別利益合計	—	9,825
特別損失		
固定資産除却損	2,058	1,981
固定資産売却損	2,707	—
特別損失合計	4,765	1,981
税金等調整前四半期純利益	130,016	663
法人税、住民税及び事業税	42,308	4,988
過年度法人税等	—	16,093
法人税等調整額	52,968	9,547
法人税等合計	95,276	30,629
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△176	1,367
四半期純利益又は四半期純損失(△)	34,915	△31,333

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	774,870	781,911
売上原価	480,947	555,623
売上総利益	293,923	226,287
販売費及び一般管理費	227,382	207,393
営業利益	66,540	18,894
営業外収益		
受取利息	116	50
受取賃貸料	2,325	3,546
為替差益	—	7,928
その他	1,204	120
営業外収益合計	3,646	11,646
営業外費用		
支払利息	8,492	10,171
為替差損	17,359	—
その他	264	2,649
営業外費用合計	26,116	12,821
経常利益	44,071	17,718
特別利益		
前期損益修正益	—	6,539
固定資産売却益	—	170
貸倒引当金戻入額	—	554
特別利益合計	—	7,263
特別損失		
固定資産除却損	2,032	113
固定資産売却損	2,707	—
特別損失合計	4,740	113
税金等調整前四半期純利益	39,330	24,869
法人税、住民税及び事業税	2,973	1,962
過年度法人税等	—	16,093
法人税等調整額	36,818	12,410
法人税等合計	39,791	30,465
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△862	523
四半期純利益又は四半期純損失(△)	401	△6,119

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	130,016	663
減価償却費	164,320	212,656
貸倒引当金の増減額（△は減少）	300	△4,630
賞与引当金の増減額（△は減少）	△86,912	△94,409
退職給付引当金の増減額（△は減少）	28	8
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	2,475	2,675
受取利息	△824	△187
支払利息	29,473	28,174
固定資産売却損益（△は益）	2,707	△170
固定資産除却損	2,058	1,981
株式交付費	4,521	—
売上債権の増減額（△は増加）	89,838	167,584
たな卸資産の増減額（△は増加）	△478,709	△101,398
仕入債務の増減額（△は減少）	273,539	△68
前受金の増減額（△は減少）	448,645	△269,739
その他	△78,668	73,331
小計	502,809	16,470
利息及び配当金の受取額	824	187
利息の支払額	△28,783	△27,147
法人税等の支払額	△245,937	△54,619
営業活動によるキャッシュ・フロー		
	228,913	△65,108
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△6,042	△9,062
有形固定資産の取得による支出	△754,481	△471,773
無形固定資産の取得による支出	—	△3,861
その他	△899	△2,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
	△761,422	△486,835
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△40,000	40,000
長期借入れによる収入	—	600,000
長期借入金の返済による支出	△208,400	△187,200
リース債務の返済による支出	△7,249	△25,351
株式の発行による収入	963,308	1,600
配当金の支払額	△26,400	△47,649
財務活動によるキャッシュ・フロー		
	681,258	381,399
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,416	△348
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	129,332	△170,892
現金及び現金同等物の期首残高	255,744	306,186
現金及び現金同等物の四半期末残高	385,077	135,293

(4) 繼続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	医薬品非臨床試験事業 (千円)	臨床試験事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	698,725	—	76,145	774,870	—	774,870
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	698,725	—	76,145	774,870	—	774,870
営業利益又は 営業損失(△)	103,080	△25,858	△10,680	66,540	—	66,540

当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	医薬品非臨床試験事業 (千円)	臨床試験事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	741,363	—	40,547	781,911	—	781,911
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	741,363	—	40,547	781,911	—	781,911
営業利益又は 営業損失(△)	57,869	△14,109	△24,865	18,894	—	18,894

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	医薬品非臨床試験事業 (千円)	臨床試験事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,176,746	—	239,671	2,416,417	—	2,416,417
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,176,746	—	239,671	2,416,417	—	2,416,417
営業利益又は 営業損失(△)	294,781	△66,206	△22,765	205,809	—	205,809

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	医薬品非臨床試験事業 (千円)	臨床試験事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,263,251	—	98,221	2,361,473	—	2,361,473
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,263,251	—	98,221	2,361,473	—	2,361,473
営業利益又は 営業損失(△)	144,697	△45,483	△79,480	19,732	—	19,732

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
医薬品非臨床試験事業	医薬品開発のための安全性試験、薬効薬理試験
臨床試験事業	医薬品開発のための臨床試験の受託
その他事業	空調装置、スクラバー（ガス除去装置）、脱臭剤搭載装置の開発・施工・販売等、食品の非臨床試験及びヒト臨床試験の受託

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (千円)	フィリピン (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	774,851	19	774,870	—	774,870
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	30,352	30,352	(30,352)	—
計	774,851	30,371	805,223	(30,352)	774,870
営業利益又は営業損失(△)	75,487	△1,168	74,318	(7,777)	66,540

当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (千円)	フィリピン (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	781,910	0	781,911	—	781,911
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	44,797	44,797	(44,797)	—
計	781,910	44,798	826,708	(44,797)	781,911
営業利益	32,718	469	33,187	(14,293)	18,894

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (千円)	フィリピン (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,416,268	148	2,416,417	—	2,416,417
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	438	85,034	85,473	(85,473)	—
計	2,416,707	85,183	2,501,891	(85,473)	2,416,417
営業利益又は営業損失(△)	243,492	△38,356	205,135	673	205,809

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (千円)	フィリピン (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,361,453	19	2,361,473	—	2,361,473
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	93,443	93,443	(93,443)	—
計	2,361,453	93,463	2,454,917	(93,443)	2,361,473
営業利益	40,802	97	40,899	(21,166)	19,732

(注) 国別に区分しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結会計期間
(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間
(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。